

不易流行

～和賀組社長からのメッセージ～

VOL.104 (2024.11.27)

令和6年度スローガン
過去最高業績への挑戦
～和賀組さんで良かったと言われよう～

株式会社和賀組 代表取締役 和賀幸雄

建設業界に限らず、働く人にとって資格取得はそれぞれの業界でキャリアを切り開いて行く上で極めて重要な自己啓発と言えます。資格取得はその分野に関する専門的な知識やスキルを身につけたことが証明され、資格は人事考課や能力評価に反映されることが多くっております。当社でも建築士・土木および建築施工管理技士など受注に直結する資格取得者には手当を支給しております。資格取得のためには通常の業務時間外に勉強しなければならず、これは任意の事柄です。人によっては多忙な環境あるいは育児や介護といった様々な理由で実行できないこともあるでしょう。しかしわずかな時間を見つけて集中して勉強することで見事に資格を取得している社員も多くおります。

先日あるセミナーで【効率的勉強法エドガーデルの学習法則】を知ることができました。この法則は左図のように「人は聞い

エドガーデルの学習法則



ただけだと 10 パーセント、読んだことは 20 パーセント、見たことは 30 パーセント、見ながら聞いたことは 50 パーセント、口に出して書くと 70 パーセント、人に教えることで 90 パーセントを記憶する。」ことを示した図として知られています。確かに人に教えるとなると自分がしっかりと理解していないとできない事を皆さんも経験したことがあるのではないのでしょうか？もっともこの数値にはあまり根拠はないようですが、口に出して書くことが学習効率を格段に上げるとい事だと思います。皆さんスマホを持っていると思いますので、本を読んだ音声を録音し、車で移動中に聞くことも効率的な学習方法だと思います。

とはいえ、もう年で物覚えが悪くなったから無理だ・・・などと諦めてしまう方もいるかもしれません。確かに脳のピークは 20 歳とされていますが、一方で脳は「鍛えれば鍛えるだけその容量をどんどん増していく」という特性があるそうです。また脳を鍛えると認知機能全体にいい影響をもたらすことがわかってきているそうです。私の好きなサムエル・ウルマンの詩「青春」には以下の様にあります。「青春とは人生の或る期間を言うのではなく心の様相を言うのだ。(中略)年を重ねただけで人は老いない。理想を失う時に初めて老いるのだ。」これから資格取得に向けて受験される皆さんが、高い「理想」を掲げることに期待します。

湯沢商工会議所会員大会

10/25 第 36 回会員大会が湯沢ロイヤルホテルで開催され、永年勤続優良従業員の表彰式がありました。平良土木部長が永年勤続表彰を受賞しました。これまでは 1 月の新年祝賀会で表彰しておりましたが、今年から秋の会員大会で表彰する事になります。平良部長は国土交通大臣表彰について受賞、おめでとうございます。



除排雪安全祈願祭



10/31 に湯沢雄勝地域除排雪安全祈願祭が開催されました。神事後、第 6 回(令和 6 年度)秋田県道路除雪オペレーター表彰式が行われ、マスター部門(20 年以上の実務経験)では(株)菅組丹広隆氏、ジュニアマスター部門(10 年以上 45 歳未満)で(有)高賢産業 芝塚優氏、(株)佐々木機械土木 高橋功樹氏、(株)柴田組 内藤直志氏が受賞しました。



秋田県建築士大会



第 46 回一般社団法人秋田県建築士大会湯沢雄勝大会が「白井晟一秋田時代を振り返る」を大会テーマに 11/9 湯沢グランドホテルにて開催されました。「はじまりへの旅白井晟一と 1950 年代の秋田」と題した渋谷区立松濤美術館学芸員の木原天彦先生の基調講演の後、創設計清水川先生とのトークセッションも行われ、秋ノ宮村役場や四同舎(旧湯沢酒造会館)、稲住温泉の浮雲など白井氏の作品や秋田とのつながりを細やかに解説して頂き、改めて当地域に残る白井作品を大事に後世に残していくことが重要であると認識致しました。